

令和6年度 岡津地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

戸建て住宅が多い地区。人口は横ばいで推移していますが、地区によっては高齢人口比率が50%を超え、85歳以上の比率も8%以上と高齢化率が著しく進行した地域を含んでいます。公共施設、公園、スーパー、コンビニ、病院等、生活に便利な住環境が整っている半面、バス停300m圏外の地域では、高齢者の外出支援、買い物支援及び見守り等の地域支援が求められます。一つの連合町内会を担当しているケアプラザとして、各種団体の会合や催事に積極的に参加し、活動の支援を行っていきます。区役所や、区社会福祉協議会と連携し、地域の課題を地域住民とともに考えます。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
■	☐	地域アセスメントし、可視化した課題を地域住民、行政、ケアプラザで協議体を開催し情報を共有する。 地域活動に参加して得た情報をマップ一覧にして提供します。
☐	■	障害の事業として、ピクトグラムを用いた「避難所マップ」作成に向けて支援する他、障害者への理解として「障害理解講座」の開催の支援を区行政と連携して行います。
☐	■	地域住民や小中学校向けに認知症サポーター養成講座の開催やサポーターにはステップアップ講座を開催して、認知症理解の推進を図ります。
☐	■	泉サポートプロジェクトの関係法人と連携をはかりつつ、移動手段や方法等、協議体の開催を通じ、地域の方々と継続的な対話を重ねます。
☐	■	在宅療養生活において多様な選択を行うための医療・介護連携に役立つ研修や会議を開催します。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

- ・障害理解講座として「精神・発達障がいを知ろう～ソーシャルフットボールの活動を通して～」を開催しました。
- ・災害時の障害者への支援として何ができるかの検討会に出席し、避難所ヘルプカードの取り組みに向けた支援を行いました。
- ・施設協力医とケアマネジャーの交流会では、「疾患別医療・介護連携事業について」の説明をすることで理解を深めてもらうことができました。
- ・本年度は新しい取り組みとして、近隣総合病院15病院の医療機関とケアマネジャーの円滑な連携に活用できる「医療機関・地域連携シート」を作成しました。
- ・泉サポートプロジェクトの関係法人と連携を図りつつ、新たに送迎支援としてご協力いただける施設と繋がることができました。
- ・人権週間に合わせ、小学校3年生を対象に認知症サポーター養成講座を開催しました。
- ・地域住民に向けてステップアップ講座として 映画の上映会を開催し、認知症の理解を図りました。
- ・サロンや地域のイベント、サークルグループの活動等に参加し、情報収集を行い、地域のたまり場マップを作成しました。

- ・泉サポートプロジェクトの関係機関と連携し、高齢者の送迎支援等の取組を通じて新たな協力機関との繋がりもでき、高齢者の生活支援の充実に向け、泉区アクションプランに基づく取組を着実に進めていただきました。次年度も引き続き、アクションプランの推進にむけた各種取組の実施を期待しています。
- ・施設協力医とケアマネジャーの交流会や研修の開催などを通じ、積極的に医療・介護連携を進めていただくとともに、今年度は円滑な連携のための「医療機関・地域連携シート」を新たに作成、配布にも取り組んでいただきました。次年度も、医療・介護連携の推進をお願いします。
- ・認知症支援事業について、地域住民が広く参加できる形で、サポーター養成講座やステップアップ講座を開催し、地域での認知症理解の推進に取り組んでいます。次年度も、地域で認知症に対する正しい知識の理解が進む事業の展開を期待しています。
- ・地域を可視化するため、地域のたまり場マップを作成しました。次年度以降は、たまり場マップを活用した地域の課題の分析や、事業の実施をお願いします。